



ゆいまある会員より



栗生沢美恵子さん

介護保険制度が始まる前年、社協主催のヘルパー養成講座があり、そこでヘルパー2級資格を取得したのがそもそものスタート。

何か出来る事は……と、第五小裏のゆいまあるを、3度ウロウロしてやっと探し当てて以来、小指の爪の先っぽ程度のかかりですが、細く長くお付き合いです。後期高齢者の仲間入りした今は、ボランティアとして週一回南沢デイルームに行っています。

約1時間のヨガストレッチの号令かけ、そのあと利用者さんとトランプ等。何より自分自身の気持ちのハリ、健康維持につながっていると思います。感謝！

最近、とてもいいナ”と思った言葉は、成田きんさんの「あなた、こなたのおかげ」です。人間ってお互いさま、支え合っているんですね。



私自身も含めて多くの皆さんは、『認知症になっても、住み慣れた地域で不安なく、ゆつたりと暮らしたい』と願っていると思います。そのお手伝いが少しでも出できればと考え、地域の皆さんと、ゆいまあるの理事長はじめスタッフの皆さんのご協力で、「ゆいまあるカフェ」が出来てから、はや7年目になります。

ここ数年は、コロナ禍のため開けないこともありましたが、毎回暖かい雰囲気、自由に歓談し、「また来月にね」と言って終わります。参加者は認知症と診断された方は少なく、お一人暮らしの高齢者や、安

年頭のご挨拶に代えて

理事長 八幡 茂子

目を疑うようなニュースが続いた2022年。

新年までにごう状況が変わるのか

明るい兆しが一つでも増えることを祈って、ひと月前にこの原稿を書いています。安心して暮らせるまちづくり

「住み慣れたところで

この理念を大勢の皆様と共有しながら23年間の歩みを続けて参りました。支えてくださった皆様のおかげです。毎年、一年の区切りには、これまでお世話になった一人ひとりを思い出しています。ボランティアからデイご利用というご縁のSさんからは、ある日直筆の色紙を頂きました。



心して楽しくおしゃべりしたい、と思つて来られる方が多いです。

このカフェの素敵などころは、参加者の皆さん自身が、それぞれご自分の特技や、今までの仕事から知り得た情報などを持ち寄って、楽しく披露してくださる事です。

毎回美味しいコーヒーを淹れて下さる方・腹話術・楽しい体操・安全な食べ物のお話・絵本の朗読の方、等々です。

まさに、「やすらぎと交流の場」として存在しています。私自身いつもそこで元気をもらい、感謝です！

皆さんも、よろしかったら、どうぞお出かけください。十二月を除き、毎月第4土曜日の午前10時〜12時にやっております。



「過去に感謝 現在に努力 未来に希望」

ドイツの哲学者、オットー・ボルノーの名言「過去に感謝を現在に信頼を未来に希望を」をSさん流にアレンジされたものと思います。

ゆいまあるの活動に重ね、繰り返し心に刻んでいます。一つひとつの事業は、先例や先輩がいない中、手探りで立ち上げてきた「初めの一步」があり、代々引き継いだ人がいて、今に繋がっています。

食事サービスも四畳半の台所で、60食作ってきた先輩がいて、献立も少しずつ進化してきました。当時から「100食」作らなければ継続は困難と認識し、新南沢に移る際、念願叶って100食調理可能な厨房で、多い時には一度に120食という調理も経験しました。調理、事務、配達と、各職員はそれぞれ大変でしたが、皆で協力し

編集後記

2024年の介護保険改正に向けての議論がはじまっています。議題のひとつに「経営の大規模化・協働化」があります。今まで在宅支援は多くの小規模の事業所が担ってきた。ゆいまあるもそのひとつです。今後小さな法人は事業の継続がより難しくなるかもしれません。小さな法人からの小さな声でも、集まれば大きな声になります。これからの動きに注目して、声を届けていきたいと思っています。(奥)

正会員93名 賛助会員39名 利用者504名 (2022年11月末日現在)

特定非営利活動法人地域ケアネットワーク ゆいまある

〒203-0023 東久留米市南沢2-13-11
Tel: 042-479-5772 / Fax: 042-479-2337
ホームページ: <https://www.yuimarlu.jp/>

NPO 地域ケアネットワーク ゆいまある 発行責任者: 理事長 八幡 茂子



本号は、リハビリ・カレッジ・ポリフォニーと共同制作です。

合い乗り越えてきました。職員全員に感謝です。

その食事サービス事業が現在大変難しい状況なのです。「100食」に届かない日々が続いています。様々な要因が考えられますが、私の努力がまだまだなのかなとも思うのです。

今後事業としてどうするかを検討を継続し、ある時期にはその判断が求められています。

厨房の機器は、全て地域の皆様の財産です。赤い羽根共同募金や、それまでの法人へのご寄付を充てて、新品を揃えることができました。この、地域の財産でもある厨房を、皆様と共に生かして行かなければとも考えています。そのことが「食で繋がるネットワーク」を強めていくことに通ずるものと信じています。

介護事業全般が大変厳しい状況下、ゆいまあるの希望ある未来を皆で考え、創り出していければと願っています。一人ひとりの志があつてのゆいまあるです。新しい時代を皆で迎えましょう。本年もどうぞよろしく願っています。